

# 平成29年度 第3回大島区地域協議会 次第

日 時：平成29年6月30日（金）  
午後2時から

場 所：大島コミュニティプラザ2階  
市民活動室1

## 開 会

### 1 挨拶

### 2 報 告

(1) 地区別懇談会の結果について

資料No.1

### 3 その他

(1) 地域協議会だよりについて

(2) 地域協議会委員視察研修について

(3) 第4回地域協議会の開催日について

【開催日：\_\_月\_\_日、開催時間\_\_時から】

## 閉 会

大島区地区別懇談会  
(平成29年度)

- ・保倉地区 大島若者交流館  
平成29年6月19日(月) 午後7時～  
参加者 住民23人 職員12人
  
- ・大島地区 大島生活改善センター  
平成29年6月20日(火) 午後7時～  
参加者 住民13人 職員12人
  
- ・菖蒲地区 菖蒲農村環境改善センター  
平成29年6月23日(金) 午後3時～  
参加者 住民12人 職員13人
  
- ・旭地区 大島旭農村環境改善センター  
平成29年6月26日(月) 午後3時～  
参加者 住民12人 職員12人
  
- ・質問・要望など  
別紙参照

◆保倉地区での意見・要望

【主な事業について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(上達)	・以前は大島農業公社に市からの補助金があったと思うが、現在はないのか。また、ハウスを譲渡するようだが独自で運営していけるのか。	(古田所長) ・今年中にハウスの1棟を解体予定であったが、協議の結果、花苗の栽培には2棟必要のため解体を取り止め、平成33年度までは、今までどおり修繕等は市が対応していく。 ・なお、33年度の譲渡に向けては、今後の農業公社の経営状況等を踏まえながら、協議を重ねていく予定である。
(細越)	・大山駐車場の公衆トイレが閉鎖され、非常に見苦しく、ひどい状態になっているが、管轄は国交省になるのか、県なのか、市は関係ないのか、併せて閉鎖してどの程度の期間で経つのかお聞きしたい。	(古田所長) ・大山駐車場の件だが、トイレは県の所有である。 ・昨年の秋から大山駐車場のトイレは閉鎖している。要因としては、あさひ荘の休館のほか、松代の公衆トイレから青空市場の公衆トイレの間の距離的なものである。 ・なお、駐車場周辺の草刈り等を予算計上しているが、ドクターヘリの着陸指定地であり、冬期間では唯一の指定地であるため、市が管理している。
《道路補修・草刈り等について》		
(大平)	市道大新田線の用水掃除について	
(細越)	県道(細越(駅舎近く)地内)の改良について	
(大平)	広域農道の草刈り及び除草剤の散布について	
(細越)	国道253号線沿線の除草剤の散布について	

【スーパーやまざくら店の経営状況について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(大平)	・設立当初は手作りのチラシを配布していたが今はあまり見ない。 ・特価商品もあると思うので、それをチラシで周知すれば効果があると	(岩野社長) ・月に2回、新聞折り込みで出すようにしているが、チラシの効果が表れていない。 ・逆に、チラシを入れることで赤字が増え

	思う。	てしまうため、今年はチラシをあまり出して いないが、再度、検討していく。
--	-----	---

### 【公の施設の在り方について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(大平)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食堂施設は維持費が掛かるが、温浴施設だけであれば維持費は少ないはずである</li> <li>・ 地域の活性化を考える際、あさひ荘は活用すべきであり、他の区民からも「もったいない」という話もあり、温浴施設だけを残した形で、経営や運用方法の研究をしたらどうかとの相談も受けている。</li> <li>・ 説明にあったように、我々として具体的な方法を考えれば、相談にのってもらえるということであれば、再開を希望する方々にその旨、報告したうえで、検討していく。</li> </ul>	<p>(古田所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市直営の再開は考えていない。行政では経営や採算面でのノウハウも乏しく、加えて再開に向けた修繕等も考慮する中で、市直営での再開は厳しいと考えている。</li> <li>・ 再開する場合は前回同様、高額な修繕費が見込まれることから、経営を再開の具体案は経営者から提出してもらうなど、しっかりとした経営計画をもって相談していただきたいと考えている。</li> </ul>

◆大島地区での意見・要望

【主な事業について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(棚岡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然流入されている防火水槽が区内にいくつかあると思うが、中に泥が相当入っていると思われる。泥があれば、その分だけ消火活動ができないと思うので、状況確認と対応をお願いしたい。</li> <li>・以前は消防団員が泥上げをしていたが、今は団員数も減り、団員だけでは管理も難しいと思うので、市で検討し泥上げしていただきたい。</li> </ul>	<p>(西山次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の防火水槽の状況について確認させていただきたい。</li> <li>・予算の関係もあるので、直ちに解決できない部分もあるが、現地確認後、その状況により対応を考えさせていただきたい。</li> </ul>
《道路補修・草刈り等について》		
(棚岡)	市道の草刈りについて	
(棚岡)	市道の凍結防止剤の散布について	
(棚岡)	市道道田線の工事について	
(石橋)	市道中野峠線のガードケーブルの処理について	
(大島)	国道 403 号線の看板設置について	

【地域活動支援事業について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(石橋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のタイムスに掲載され、高評価であったため安堵している。</li> <li>・あぜ道アートは主に石橋町内会で行うため、会員の大半が高齢者であるが総動員で行う旨、皆様に相談したところ、快く引き受けていただき、参加いただいたが、苦勞の甲斐があったと感じている</li> <li>・見に来る方だけではなく、参加者も喜んでおり、取り組んで甲斐があったし、良かったと思っている。</li> <li>・今後も元気と活性化に繋がっていけば良いと思う。</li> </ul>	<p>(西山次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞等に取り上げてもらうと、参加者の元気も出る。</li> <li>・地域が元気であることが一番必要であり、年齢を問わず、地域全体で頑張っているのが一番良いと思う。</li> </ul>

<p>(大島)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この取組は、地域の皆さんの協力があって、はじめて成功したともものと思っている。</li> <li>・当支援事業の100万円という金額は、我々だけではとても捻出できる金額ではないので、是非とも、当支援事業の継続をお願いしたい。</li> </ul>	<p>(古田所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域活動支援事業については今の市長の公約事業であるが、今後については現時点では未定であるためご承知おき願いたい。</li> </ul>
-------------	---	---

【その他について】

<p>発言者 (町内会名)</p>	<p>内 容</p>	<p>会場での回答</p>
<p>(石橋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あさひ荘の休館、ゆあみの閉館など、山間部の地域の憩いの施設が閉じられているが、旧市内では何億も財源を注ぎ、大きな施設を作っている。</li> <li>・様々な要望が挙げられていると思うが、山間部では直ぐに対応してくれる、あるいは些細な事でもよいので、あれもやってくれて良かったなという幸せ感があれば良いと思う。</li> </ul>	<p>(古田所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域の振興ということで、なかなか公共事業などが入ってこないという部分もある。</li> <li>・しかし、長野県北部地震で水道管破裂が発生したことから、今年から6年間で本管の入れ替えを行い、皆さんのライフラインの事業を行っているが、皆さんが必要なものをもっと具体的に挙げていただきたい。</li> <li>・また、行政だけではなく、地域協議会から提案書や意見書を出せる制度もあるので、委員の皆様にも声に出していただきたいが、ただ頼む・考えてほしいだけでなく、自分達を実施したい取組みや要望を自らが考え、提案いただかないと実現性がなく、市でも支援できない。</li> <li>・地区の中で、このセンターを活用しながら地域の振興策を考える中で、皆さんで話し合い、知恵を出しあいながら元気をだしていくということがよろしいかと思うのでお願いしたい。</li> </ul>

<p>(石橋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、ほくほく大島駅の駅舎についての要望になるが、上り線のホームの屋根を2メートル程伸ばしてもらうと、上り線に乗る方が雨に濡れなくて済むのと常々思っていた。</li> <li>・北越急行の管轄になるかもしれないが、これも先程の小さな幸せ感につながるので、配慮してほしい。</li> </ul>	<p>(古田所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほくほく線ホームの屋根については、北越急行の財産になっているが、うらがわら駅も濡れる部分があるので、事務所間でも連携しながら機会を見て要望していきたい。</li> </ul>
<p>(石橋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の元気を出そうということで、今回のイベントを行ったところである。</li> <li>・しかし、人口減少地域において、市全体の効率性や公平性を求められても、大島区のような過疎・山間地においてはどうかと思う。</li> </ul>	<p>(西山次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上越市は多様な地形が存在しており、地域ごとに条件が異なっているため、地域によって考え方も違ってくる。</li> <li>・平等も良い意味の平等と悪い意味の平等と色々あるのではないかと思うが、地域にあった平等さ、大島なりの考え方があっても良いのではないか。</li> <li>・トップダウンで決める物事や、ボトムアップで職員が一生懸命考えて市長に持っていく話も色々あるが、総合事務所は大島区を預かっており、その中で地域のことを考えて地域のために頑張っていきたい。</li> </ul>

◆ 菖蒲地区での意見・要望

【主な事業について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(菖蒲東)	・住宅リフォームの補助金について、上越市に住所は移していないが、この制度を使えるのか。また、補助金はどれくらい出るのか。	(小林グループ長) ・補助金額は、補助対象工事に要する費用の20パーセント、10万円を限度としている。 ・補助対象者は、市内に居住し、本市の住民基本台帳に記録されている人。他、市税を滞納していないなどである。
《道路補修・草刈り等について》		
(牛ヶ鼻)	林道牛ヶ鼻浦田線の災害復旧工事について	

【公の施設の在り方について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(菖蒲東)	<p>・大島保健センターの民間への貸付けは検討したのか。医療施設を造りたい希望者に安く貸出し、民間医療に役立てる検討はしたのか。</p> <p>・ただ遊ばせるよりは、地域活性化に利用することを考えれば行政としても無償というわけにはいかないだろうが、高くなるのを抑えるような案をそちらで出すべきではないか。</p> <p>・この地区から医療機関までは非常に遠い。身内の者が倒れた時、市内まで約1時間、救急車が来るまで30分。そういう地域であれば、役所として赤字になるかもしれないが医療機関を設置すべきではないか。</p> <p>・入院は大きい病院に行かなければならないが、この地域は遠距離にあるため、そういうことにこそ目を向けなければならぬのではないか。</p>	<p>(古田所長)</p> <p>・現時点では、保健センターであり、具体的に民間に貸し出す等の募集などは行っていない。</p> <p>・貸し出すにしても、鉄筋コンクリートの建物であり、耐用年数も長いため、評価額の何パーセントというのが相場になる。</p> <p>・おそらく現状の経済状態その他の中で、大島区の保健センターで民間事業者を公募しても、採算性などを考慮すると簡単には来ていただけないだろうというのが素直なところである。</p> <p>・皆様方の中で、あの施設を利用して創作活動などで使いたい、あるいは住民発意による地域振興のためということであれば、賃貸料については、免除することができる場合もある。</p> <p>・最終的には譲渡や除却を考えなければならないが、先にそれありきではなく、まず住民の皆様から積極的に利用方法のアイ</p>



		<p>デアを出していただき、皆様から利用していただきたいということを私共は考えているところである。</p> <p>・医療の関係については、医師も高齢になり、開業が難しくなっているが、何とかお願いして継続しているところもある。そのようなところは、上越市のセンター病院の医師を交代で勤務させるなど、できるだけ、へき地医療もゼロにならないように取り組んでいる。</p>
--	--	---

### 【その他について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(菖蒲東)	<p>・人口減少や地域の活力低下など、暗い話ばかりだが、何か明るい話を聞きたいと思っている。</p> <p>・菖蒲地区では「秋まつり」をずっと昔からやっている。昔からの伝統行事として、町内会の支え（寄付）もあり、神輿を購入して今なお、神輿を担いでいる。</p> <p>・最近では、担ぎ手いなくなってきたものの、菖蒲から離れた方が知人等を連れてきていただき、和気あいあいとして、毎年、みんなが喜んでいる。</p> <p>・昔は農業（米）を生業としてきたが、最近では米価も下がり、米余り現象が起きているが、この土地で採れる米は美味しいということで、生産組合を中心に米作りを続けている。</p> <p>・また、飯田邸では7月から高齢者のたまり場を開設し、憩いの場を設けていただけだが、その時に、昔の写真やビデオを見たり聞いたりできれば、昔を思い出して若返る気がする。</p>	<p>(西山次長)</p> <p>・上越市に限らず、どの地域も人口が減り、子どもが少なくなつて、活力が低下している話を聞いているが、年齢よりも気持ちだと思っている。</p> <p>・日常生活においても、お互いに助け合いながら肩を寄せ合って頑張っていくということが大事であると思っている。</p> <p>・行政についても様々な基準や規制もあり、合併して良いことが無くなったという話も聞く。</p> <p>・総合事務所は大島区を預らせていただいております、住民の皆さんのための事務所である。</p> <p>・職員も地域の皆さんと寄り添って一緒に考えて一緒に取り組んでいきたいと思っているので、悩み事があればいつでも相談いただきたい。</p> <p>・菖蒲地区の皆さんは、役員さんをはじめ、地域が団結し、一生懸命頑張っている。活動支援事業でも色々な事業を提案されたり、新しい事業の取り組みも始めていただいている。</p> <p>・また、菖蒲生産組合も一生懸命、米も野</p>

	<p>るし、楽しみも増え、集落も良くなる。</p> <p>・財政が苦しいのは重々承知しているが、林道牛ヶ鼻浦田線に関する要望も含め、優しく、そこに住む人の気持ちを汲んでいただくようお願いしたい。</p>	<p>菜も取り組んでおり、大島区のモデルとなる地区だと思っている。その方々から貴重な意見をいただいたので参考にしていきたい。</p>
--	---	--

◆旭地区での意見・要望

【主な事業について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(田麦)	・旭農村環境改善センターの畳が傷んできて、段違いが出てきている状況である。畳を替えていただくようお願いしたい。	(山崎グループ長) ・この会場で今も現場も見ているし、写真を撮って、次年度要望ということで挙げさせていただくように調整させていただきたい。
(田麦)	・旭農村環境改善センターの入口に時計があるが、その時計が止まっている。修繕は誰がするのか。外すのであれば外していただき、きちっとした管理をしていただきたい。	(古田所長) ・会議が終わったら、担当グループ長と一緒に確認させていただく。 ※翌日、除去対応済み。
(田麦)	・保育園通園バスの運行について、利用者負担の記載があるが、市で負担すべきではないか。	(武田グループ長) ・保育園の入口までは保護者の責任、学校の場合は、自宅から校門までは公の責任であることから、保育園通園バスについては利用者負担をいただいている。
《道路補修・草刈り等について》		
(田麦)	旭の憩いの池の前の舗装修繕について	
(田麦)	市道田麦下村線の舗装修繕について	
(田麦)	市道下村線の法面工事及び側溝蓋の修繕について	
(田麦)	「庄屋の家」周辺の舗装及び側溝改修について	

【スーパーやまざくら店の経営状況について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(田麦)	・地域活動支援事業で菖蒲地区において、飯田邸を利用した高齢者のたまり場が開設される。そこでネットスーパーを行うということであるが、菖蒲地区でやまざくらの移動販売車の売上はどれくらいあるのか。	(古田所長) ・菖蒲地区で5軒程、利用していると聞いている。他の地区と比較すると移動販売車の利用が少ない状況である。

【公の施設の在り方について】

発言者 (町内会名)	内 容	会場での回答
(竹平)	<p>・あさひ荘の利用について、仮に田舎体験等で利用としたときに、施設の改修は考えられるのか。</p>	<p>(古田所長)</p> <p>・例えば、何千万もかかるような改修であれば、それは収支バランス等でごめんなさいということもでてきてしまうが、大きな改修費などがかからずに違った利用などが可能であれば、私共も相談にのり予算その他で検討していきたい。</p>
(田麦)	<p>・市で管理するのではなくて、利用したい人がそこを管理するのか。</p>	<p>(古田所長)</p> <p>・温泉施設として再開するのであれば、完全に事業者から管理していただくことになる。</p> <p>・体験工房として利用するような場合、例えば旭地区協議会で受けてくれるということであれば、鍵をお預けしてやるという方法は考えられる。それは、利用方法や田舎体験の協議会なりどういうところが主になって管理していただけるのかということも含めて、相談の中で進めたい。</p>
(田麦)	<p>・使う時だけ、貸してくれというわけにはいかないのか。</p> <p>・また、平常時の管理もしなくてはいけないのか。</p>	<p>(古田所長)</p> <p>・例えば年に1回だけでは困る。田舎体験で年に何回か使ってほしい。計画自体も年に1回2回では、改修で何百万円もかかるとなると、それよりも、庄屋の家のかやぶきの体験棟で良いのではないかという話になる。そういうことも含めた中で相談させていただきたい。</p>
(竹平)	<p>・以前は、夏場とかに合宿で来ていただいた方もあったが、そういう時であれば広間を使えるということは必要であるし、そうなるとトイレ、風呂の関係も出てくる。</p> <p>・そういった話が出た場合には、どれくらいの改修費になるか相談になるということか。</p> <p>・源泉はポンプを使っていたと思う</p>	<p>(古田所長)</p> <p>・電気、ガス、水道は切っている。</p> <p>・源泉については、確認する場合、トンネルの中を片側交互通行にしないと見ることができない。正直なところ1年2年くらい遊ばせているため、源泉のポンプを入れて、マンホールの中の水中ポンプ自体が動いてくれるかどうかはわからない。</p> <p>・先程の話にあったが、合宿など時期が暖</p>

	<p>が、今は電気等が止められ、全然管理はしていないのか。</p>	<p>かければシャワーだけとかであれば可能である。</p> <p>(西山次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会施設としての、お風呂を使わない部分で良い案があればということである。現在、休止状態で電気も切らせていただいている状況であるが、もし何かあればそういったものも含めて検討したい。</li> </ul>
(田麦)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の関係があるということは売却もできないのか。</li> </ul>	<p>(古田所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には目的と違うものには、売却や無償譲渡もできない。今と同じような温浴とかいうものであれば、ある程度は無償譲渡だとか検討できる。</li> </ul>
(田麦)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターについて、要支援が入所できる、浦川原のいきいきセンターのような施設を市の方で作っていただけないのか。</li> <li>・あれだけの施設を遊ばせておくのはもったいと思うので、有効利用できないか。</li> <li>・上越市は介護保険料が全国でも高いため、予防施設に政策として要支援者を支援できないか。</li> </ul>	<p>(武田グループ長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安塚区には、保育園を改造した施設がある。また牧区には、学校を改造した生活支援ハウスがある。一度、地域協議会で検討もされたが、結論は出なかった。</li> </ul> <p>(西山次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定を受けていない方が対象になる。希望者と市内施設の許容量を見比べて判断されると思われる。</li> </ul>
(田麦)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くびき社会事業協会あたりに安く譲渡できないか。一般的な値段では買えないと思うが。そうなれば、かなり利用できるようになるのではないか。</li> </ul>	<p>(古田所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用が福祉目的であれば、無償譲渡もできる。例えば社会福祉協議会の場合だと、保健センターやデイサービス等を市から譲渡したものがある。</li> <li>・ただし最近は社会福祉協議会も欲しがらない。無償譲渡されても、固定資産税や維持費を生み出すための収入をあげないと、社会福祉協議会自体が赤字になってしまうので、手を上げられない状態である。</li> </ul>

【その他について】

<p>(田麦)</p>	<p>・市は所長にある程度の予算を預けて、所長の権限で修繕できないか。木田へ行って返事もらわなければ何もできないのは、如何なものか。</p>	<p>(古田所長)</p> <p>・私のところには、緊急修繕ということで100万円の予算を預かっている。</p> <p>・毎年、地区要望を出していただいている中でも、4地区からの多くの要望について、現場確認し優先順位を考えた中で決めて工法等を検討し行っている。要望していただいて1年、2年という単位でできないということは、ご理解いただきたい。</p> <p>・地域協議会でも話があったが1年出したから来年は出さなくてよいのではなくて、懲りずに出していただき、優先順位を上げていくというようなところで、私共も産業・建設グループも木田と頑張っていて交渉している。</p> <p>・時間がかかって出すだけ無駄だということではなく、要望については懲りずに手を煩わせて申し訳ないがよろしくお願ひしたい。</p>
<p>(竹平)</p>	<p>・熊の対応について、民家の近くに出てきている。対応はしっかりやっていただきたい。何かあってからでは遅い。我々地区の猟友会では、回って警戒したりしている。</p>	<p>(古田所長)</p> <p>・春先は、安塚で頻繁に出没していたが、オリを設置してとらえたということである。こちらの方も、罝を仕掛けるにも猟友会もご存知だと思うが、ある程度、頻繁に出る場所が特定できないと罝を仕掛けても駄目である。</p> <p>・また、人家の近くに出るようであれば、条件を見ながらおりの設置だとか、地元の猟友会さんなどにもご相談しながら対応を図っていきたい。</p>

# 大島区地域協議会だより

26号 平成29年7月発行 発行：大島区地域協議会 編集：編集委員会&協議会事務局  
事務局：大島区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-594-3101

## 地域協議会で新たな試みを実施

地域住民と共に！

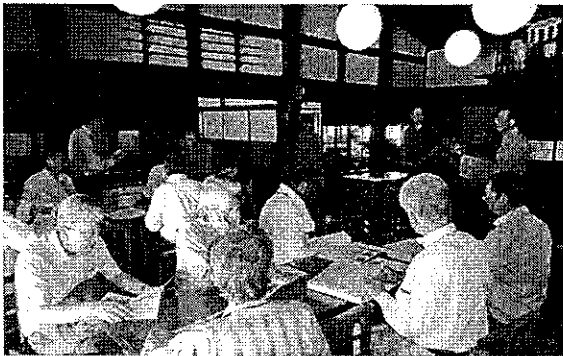
地域協議会では、自主的審議事項として前期から「少子高齢化」についての議論を深めています。

人口減少や少子高齢化により地域の課題が多様化・複雑化するなか、地域協議会においても地域の皆様との懇談の場を設け、直接、皆様の声をお聴きするため、大島地区と保倉地区において、試行的に「出張地域協議会」を開催することとなりました（時期は未定）。

また、大島区が直面している様々な課題について、講師を招き勉強会を行う「地域協議会委員研修会」として、地域協議会が主催となり、一般公開としながら開催し、地域の皆様と情報共有しながら、地域の将来について皆様と一緒に考えていくことも計画しております。

こちらにつきましても時期や開催方法・内容はこれから決定してまいります。是非、地域協議会の取組にご参加いただき、一緒に将来の在り方について考えていただきたいと思います。

### 現地踏査の様子



菅浦地区高齢者たまり場開設事業  
(菅浦地区振興協議会・飯田邸内)



雪原湖田アートとLED雪蛍事業  
(藤尾町内会)

平成29年度地域活動支援事業の大島区の配分額は490万円です。  
今年度、採択を決定した事業は、7件、事業費で508万6千円、補助決定額が490万円です。  
地域協議会では5月22日に提案事業の現地踏査と提案者からの現地説明を受けました。採択した事業は裏面のとおりです。



あげ道アート・夢あかりinほたるの里事業  
(大島地区振興協議会・石橋町内)

決定

平成29年度地域活動支援事業

# 平成 29 年度



## 地域活動支援事業のご紹介

事業名	提案団体	補助 決定額 (千円)	事業内容の概要
旧旭小学校跡地整備事業	旭地区協議会	1,000	旧旭小学校敷地の利活用について地域として検討するとともに、シャクヤクを植栽し保護・育成を行う。
「ほたるのこおどり」 未来への継承事業	大島まちづくり 振興会	720	創作した「舞台踊り」や「和踊り」の演奏に必要な楽器の修繕や新規購入を行い、「ほたるのこおどり」を継承する。
あぜ道アート・夢あかり in ほたるの里	大島地区 振興協議会	912	ホタルが最も多く飛翔する時期に、田の畔にろうそくを灯すあぜ道アート、上越教育大学吹奏楽団をゲストに迎え音楽ライブを開催する。
雪原棚田アートと LED雪蛍事業	藤尾町内会	340	豪雪地域で高齢者世帯が多く、冬期間は交流の場が少ない町内会において、クンタンアートの制作とイベントを開催する。
菖蒲地区 高齢者たまり場開設事業	菖蒲地区 振興協議会	620	飯田邸を高齢者のための施設改修を行い、菖蒲地区の高齢者が気軽に集まれる高齢者のたまり場を開設し、ネットスーパー等を活用した買い物支援の仕組みを構築する。
私たちの未来の働き方・ 役立つ金融教育	大島っ子を 育む会	748	日本銀行新潟支店への訪問や新潟が全国に誇る産業等を実際に見て触れることで、生き方や価値観を磨き、深めるとともに、より良い社会づくりに向けて主体的に行動できる態度を養う。
菖蒲「秋まつり」 活性化事業	菖蒲西町内会	560	「秋まつり」で使用していた太鼓が老朽化したため、太鼓を新規購入し、事業を継続することで、賑わい創出と地域住民及び参加者の交流を促進する。